



11月30日に開催されたシティファッションカレッジのスペシャルイベント「Christmas Party 2010 CLASSICAL NIGHT」での、サポーター企業によるファッションショー風景。リアルクローズ・ブランドから「冬トレンド&クリスマスコーディネート」をテーマにした約30体が、ランウエーに登場した

働く女性500人の悩みと企業の要望を結ぶ 「シティファッションカレッジ」

仕事スーツから休日カジュアルまで、着こなしに頭を悩ませる女性たちと、彼女たちの悩みを知りたい百貨店や商業施設。大阪「シティリビング」がその橋渡しとなる「シティファッションカレッジ」企画は、読者と企業が直接顔を合わせるメリットが生かされている。

少人数のゼミと大勢のイベントで 着こなしを変えるきっかけを作る

「入社して約6年、着こなしがパタン化してきて……。おしゃれに関心が高く洋服や雑貨にお金をかけているにもかかわらず、毎日のコーディネートに悩んでいる大阪「シティリビング」読者と、働く女性の生の声を集めて販促に活用したい企業。両者の間を取り持つ場として、「シティファッションカレッジ」が誕生した。

2010年9月〜2011年3月の期間限定で、会員は20代〜30代の働く女性500人。会員には「学生証」を発行し、少人数制のゼミに招待。会員限定のメールマガジンやセール情報なども発信し、百貨店や商業施設の協力も得て読者がファッションスキルを磨く機会を提供している。

月1回の講座ではカラスク

ルの講師やセレクトショップのスタッフから、色使いや体型を生かした着こなしを教わる。参加者からは専門家の意見が聞けて役立つ、同じ悩みを持つ仲間に出会えると好評だ。参加者以外にも講義の内容が分かるように、セミナーの様子は紙面とWebで報告する。

11月30日には会員以外の読者も参加できるクリスマスイベントを開催。ヘアメイクの実演や協賛企業のファッションショーなどでクリスマスを華やかに演出し、働く女性の購買意欲を刺激する。

協賛企業の協力が単なるPRではなく、読者のためを考えると、アンケートや座談会などでニーズを拾い企画につなげる努力をしていることが、長期イベントを継続的に盛り上げる力となっている。



百貨店バイヤーによるファッションカレッジオープンセミナー vol.1 (「2010冬トレンド制覇」)

Interview



おしゃれはチャレンジ 学んだ知識で挑戦を重ねてほしい

サンケイリビング新聞社
大阪営業局シティ営業部
小山理子

紙面にファッションの情報が少ないと思ったんです。自分もつい無難な着こなしを選ぶなど、働く女性の一人としてファッションがマンネリ化しているという自覚もあったので、同じような悩みを持つ読者を巻き込む企画として「シティファッションカレッジ」を立ち上げました。

「カレッジ」という名称にふさわしい内容のセミナーを半年以上も続けられるのか、広告主が企画にメリットを感じてくれるのかと

不安もありましたが、多くの会員登録や企業の協力をいただきました。ゼミでは実際に役立つ知識やテクニックのほか、業界のウラ話も人気。買い物欲も刺激されるようです。

プロだって何度も失敗しながら、自分に似合う服を見つけているんです。興味を持ったアイテムや流行にどんどん挑戦することで、センスは磨かれます。読者がおしゃれに自信をつけることで、大阪も元気になるんじゃないか、そのように考えています。

2011年のチャレンジ

- ★働く女性の心をつかんでアクションにつなげる
- ★モバイルやツイッターを積極的に活用
- ★広告主と読者のリアルな接点を増やし、本音マーケティングを実践していく